

# 総合人間科学 化学

## 1-1 構成員

平成29年3月31日現在

教授	1人
病院教授	0人
准教授	1人
病院准教授	0人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
病院講師	0人
助教(うち病院籍)	0人 (0人)
診療助教	0人
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	1人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	1人
その他(技術補佐員等)	1人
合 計	5人

## 1-2 教員の異動状況

藤本忠蔵(教授)(昇任 平成14年4月1日～現職)  
黒野暢仁(准教授)(採用 平成26年9月1日～現職)  
Anang Sedyohutomo(特任助教)(採用 平成22年4月1日～現職)

## 2 講座等が行っている研究・開発等

1	(1) 研究・開発等のテーマ名	酸素酸化を活用した触媒的カップリング反応開発
	(2) 研究・開発等の背景、目的、内容の概略	分子状酸素の酸化力を合成反応に利用して、新たに炭素-炭素結合を形成する。また、この反応を促進させる触媒の開発
	(3) 前年度までの状況	触媒分子を発見して、様々な基質への適用性も検討した
	(4) 当該年度内の進捗	昨年度から継続して基質適用性を検討した。また用いた化合物の酸化還元電位を測定した。
	(5) 翌年度の方針と予想	上述の内容を論文にまとめた後に、新たな触媒分子の開発を検討する
2	(1) 研究・開発等のテーマ名	DNA付加体の合成と直截的な付加体の構造解析法の検討
	(2) 研究・開発等の背景、目的、内容の概略	DNA付加体の標準サンプルとなる化合物の合成およびX線結晶構造解析を取り入れた構造解析法の検討
3	(1) 研究・開発等のテーマ名	逆相HPLCカラムのイオン交換HPLCカラムへの変換に関する研究
	(2) 研究・開発等の背景、目的、内容の概略	従来からイオン交換クロマトグラフィーではイオン交換樹脂カラムが用いられているが、HPLCで汎用され、高性能分離を与える逆相HPLCカラムをイオン交換モードに変換した後、より高い分離性能を得ようとするものである。

## 3 論文, 症例報告, 著書等

	平成28年度
(1) 原著論文数(うち和文のもの)	0編 ( 0編 )
そのインパクトファクターの合計	0.000
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0編
そのインパクトファクターの合計	0.000
(3) 総説数(うち和文のもの)	0編 ( 0編 )
そのインパクトファクターの合計	0.000
(4) 著書数(うち和文のもの)	0編 ( 0編 )
(5) 症例報告数(うち和文のもの)	0編 ( 0編 )
そのインパクトファクターの合計	0.000

#### 4-1 特許等の知的財産権の取得状況

	平成28年度
特許等取得数(出願中含む)	0 件

#### 4-2 薬剤、医療機器等の実用化、認証、承認、製品化、販売等の状況

	平成28年度
実用化、認証、承認、製品化、販売数	0 件

#### 5 医学研究費取得状況

	平成28年度	
	件数	金額 (万円未満四捨五入)
(1) 科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)	1 件	34 万円
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	0 万円
(3) 日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0 件	0 万円
(4) 科学技術振興機構(JST)による研究助成	0 件	0 万円
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	0 万円
(6) 財団助成金	0 件	0 万円
(7) 受託研究または共同研究	0 件	0 万円
(8) 奨学寄附金	0 件	0 万円

##### (1) 科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)

1. 黒野暢仁(代表), 不斉リチウム塩触媒を駆使したシアノ化反応の開拓, H25~28年度, 代表	34万円
--	------

#### 6 大型プロジェクトの代表, 総括

#### 7 学会活動

	(1) 国際学会	(2) 国内学会
1) 基調講演・招待講演回数	0 件	0 件
2) シンポジウム発表数	0 件	1 件
3) 学会座長回数	0 件	0 件
4) 学会開催回数	0 件	0 件
5) 学会役員等回数	0 件	3 件
6) 一般演題発表数	0 件	

##### (2) 国内学会の開催・参加

##### 2) シンポジウム発表

1. 黒野暢仁・記野順 酸素酸化を利用するイソキノリン誘導体のカップリング反応 第40回有機電子移動化学討論会、新潟、2016/06/23~24
--

##### 5) 役職についている国内学会名とその役割

1. 藤本忠蔵 日本分析化学会中部支部常任幹事 クロマトグラフィー科学会評議員 日本分析化学会電気泳動分析研究懇談会委員
--

#### 8 学術雑誌の編集への貢献

	(1) 外国	(2) 国内
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0 件	1 件

##### (2) 国内の英文雑誌等の編集

1. Chromatography, Editorial Board, PubMed/Medline登録無、IF有
---

##### (3) 国内外の英文雑誌のレフリー

1. J.Chromatogr.A 1回、J.Chromatogr.Sci. 1回、Chromatography 1回
---

9 共同研究の実施状況

	平成28年度
(1)国際共同研究	0 件
(2)国内共同研究	0 件
(3)学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成28年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 新聞, 雑誌, インターネット等による報道

13 その他の業績